

肉製品、乳製品製造業におけるコンベアを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	19～20	製品課クリーンルーム内で、コンベアの下を潜り抜けようとしたところ、コンベアの向こうにあったテーブルの角にぶつかり、額を切り出血した。	51	100～299
1	16～17	生産アイテムの型替えにより、Bライン横ピロー包装機の設定作業中、コンベアの動きを確認するため起動させ（安全カバーは閉じた状態）包装エンドシールのカッター部分の奥まで手を入れてしまい、カッターに挟まれてしまった。	46	100～299
5	11～12	当日に製造室内の床清掃中、バケツとモップを持って移動するため、製造ラインのコンベアの下を屈んでくぐった際、右膝に違和感を覚えた。当初は特段の異常は無かったが、その後、痛みが出た。	48	100～299
7	9～10	当社派遣先工場の工程内に於いて、稼働中のベルトコンベア上で袋詰めされた商品の手加工作業中、当該コンベアのローラ部にゴム手袋ごと右手が引っ掛かって巻き込まれ、右小指を負傷（爪剥離）。すぐさま作業を中断し、当日の勤務時間中に病院を受診。本人の回転体に対する危険認識の欠如や作業時の注意不足、それに使用者側の安全衛生教育の不足等が当該災害の主原因と史料。	50	100～299
7	12～13	同社作業場にて、フルオートラインの腕コンベアで牛肉のパッキング作業中、コンベア下部に肉が溜まってしまったため、除去しようと左手を入れたところ、稼働中のお腕と接触し負傷した。	47	50～99
7	10～11	解凍設備でトラブルが発生したため、コンベアに長靴を脱いだ状態で上り、対応を行いコンベアから降りる際、バランスを崩し転倒してしまい、作業台（FRP）の隙間に右足人差し指が挟まり負傷した。	52	—

7	18 ～ 19	集合部Sラインのローラーコンベア及び中間バケット付近を清掃する作業中に、中間バケットの奥が卵黄等で汚れて届かなかったため、ローラーコンベアの上に跪いて乗り、清掃を行おうとしたとき、コンベア上で滑り、約80cm下の床に右手から落下し、右手を負傷した。	60 ～ 299	100 ～ 299
10	8 ～ 9	被災者が、派遣先である当社第2工場包装室において、コンベアテンションローラー部の汚れ拭き取り清掃中、クロス（タオル）でコンベアローラーの汚れを拭きとろうとして、通常はいつもコンベアを停止して清掃する指導を受けていたのだが、その日は被災者の気の緩みからか、コンベアが動いている状態で作業した。クロスが作動中のローラー部に巻き込まれて、取り除こうとしたが左手も肘の辺りまで巻き込まれ、左手首を骨折負傷した。	59 ～ 99	50 ～ 99
11	16 ～ 17	スライスチーズの充填機で通常生産中に、内装フィルムの黒テープつなぎ部分に充填されたチーズを取り除くため、コンベア上の7枚重ねになったチーズを横取りしようとして、コンベアとコンベアの間隙に左手中指と環指の先端部を巻き込まれ、爪が剥がれる負傷をした。	54 ～ 999	500 ～ 999
12	6 ～ 7	始業前のアンスタンカー（烏カゴをリフトアップする機械のコンベア）を試運転中、コンベアのプラスチックチェーンが浮いて盛り上がった所を元に戻そうとしたとき、停止せず右手でチェーンをつまんだ。つまんだ時、右手中指の軍手先がチェーンに引っかかり、中指と薬指が巻き込まれて負傷した。直ぐ後ろにいた同作業者に停止してもらい、その後、救急車で病院に向かった。	50 ～ 99	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html